

私たちを はぐくみ 育ててくれる 母なる大地 夜久野町



夜久野自治会だより

第42号

平成29年
3月号



おもな内容

会長あいさつ	
活動報告・決算報告	2・3
防災ブック作成	4
まちづくり振興大会	5
輝く夜久野の子どもたち	6
きらり夜久野なでしこ ふれあいいきいきフェスタ	7
まごころ銀行(ふるさと基金)	8

『卒園へ心をこめて』

卒園式で園児が胸に飾る花を、
市老人クラブ夜久野支部女性部の
皆さんから贈呈されました。

丁寧に手作りされたコサージュを、
卒園児みんなで受け取りました。

(下夜久野保育園にて)



『平成28年が抱える1年を振り返る。』



【風を読む】

夜久野町連合自治会

会長 水谷 博

平成十八年一月一日、一市三町が合併し夜久野町連合自治会十二年目の新たな年がスタートしました。

総会において提言した事業の取組みを、何度も討議しさらに発展させ、住民の皆様方との協働による「安心・安全」な地域・町づくり、全自治会一丸となって、取組みを進めてまいりました。

しかし決定的な過疎対策案がないまま、現在の過疎化問題にまったく歯止めがきかない状態が続いており、各地域においても組織の運営が難しくなっております。

自治会会員数が十名を切ったところが四自治会、二十名未満が二十二自治会になっています。このような現象の中、高齢者が急増し、若者の定住や後継者が増えにくい地方の過疎問題は、もつすでに夜久野町においても待ったなしで検討していかなければならない時代に突入していると言っても過言ではありません。

また、そのことに拍車をかける難視聴地域への地デジ設備投資などが一〇〇〇円増の負担になり、新規加入者は十万円以上の負担になることなどは、移住者へのリスクが伴い、七月からの水道料金値上げによる影響が更なる悪影響を及ぼし、ますます過疎化の一路をたどるばかりです。

再び夜久野町が活気を取り戻すためには、時代という「風」を読み十年後二十年後の次世代が安心して継承できる町を築き、残された貴重な文化・山や田畑、資源などを自らが守っていく時代を、私達が今取り組まなければならぬと考えます。

平成二十八年度 定期総会

【活動報告】

①自治会組織の強化・支援

京都府・福知山市への各自治会要望事項の集約をファイリングし、京都府中丹西土木事務所・福知山市土木課からの回答を得ました。今後、未実施箇所の早期実現に向け京都府や福知山市との協議や未実施箇所の追跡調査後の回答の要求などが必要です。

②河川掃除委託費申請・支払の実施

京都府中丹西土木事務所・河川掃除委託費分配方法の調整を行ってきましたが、面積mでの支払いを基準とするための基本台帳の作成を提案・依頼し今後の河川掃除の契約を効率的に行っていく必要性が、今後の大きな課題となっていくと考えます。

③「家庭」ミニ収集カレンダー・自治会だより」の発行

カレンダーの各戸配布。自治会だより4回の発行を行ってきました。自治会だよりでは各号に特集を組むなど、内容の充実が見られたと思います。今後も、テーマ性を持たせた内容になるよう取り組んでいきます。

④安全で安心なまちづくり・自主防災組織拡大



なんでもそろてる スポンジや
山本産業株式会社

☎629-1322 京都府福知山市夜久野町平野2127
TEL(0773)38-1101(代) FAX(0773)38-1104(代)

住いのリフォーム、新築、増改築、設備のことは
(株)衣川製材所

福知山市夜久野町額田1406 TEL 0773-37-0036

平成28年度 夜久野町連合自治会 決算報告書(中間)

◎一般会計

平成28年4月1日～平成29年2月27日

〈収入の部〉

単位：円

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
繰 越 金	109,808	109,808	0	前年度より繰越金
会 費	641,000	631,000	▲10,000	500円×1,262戸
協 賛 金	200,000	200,000	0	26企業・団体
雑 収 入	50	3	▲47	預金利息(1・2)
合 計	950,858	940,811	▲10,047	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
会 議 費	15,000	7,200	7,800	施設使用料 他
通 信 交 通 費	40,000	20,815	19,185	切手・はがき・郵送料・封筒・振込手数料
事 務 費	20,000	15,598	4,402	ゴム印等事務用品・インク代
事 業 費	800,000	841,610	▲41,610	自治会だより(338,040)・ゴミカレンダー(43,200) プール運営助成(100,000)・印刷費(370) 事務局委託費(360,000)
予 備 費	75,858	0	75,858	
合 計	950,858	885,223	65,635	

(収入) 940,811円 - (支出) 885,223円 = (差引残高) 55,588円

◎特別会計

府中丹西土木事務所と業務委託契約を締結し、委託料10,999,940円を44自治会に配分しました。

※ 年度末の決算につきましては、自治会だより第43号で報告します。

の促進(防災ブック作成)

今年度の自主防災組織結成数は、二十八自治会と昨年から新規結成がありません。組織の必要性を今一度考え、自治会全体に拡大を広めていかなければなりません。

⑤ 民生児童委員・主任児童委員との連携による災害時の連携支援の取組み

「災害時ひとりも見逃さない運動」、要配慮者の把握や独居老人等の災害時の支援体制の確立・連携を今後さらに強化し、自治会・民生委員の組織力で大災害に備えます。

⑥ 夏季期間中・プール管理の財政支援

プール運営委員会にて、下地区プールが強風による砂ぼこりで水質の管理や、衛生面も悪いことから、防砂ネットの購入費を(三役で協議)支援しました。

⑦ 住みよいまちづくりの推進

夜久野学園統合後の旧三小学校跡地利用に係る、地元協議の推進を進めています。上夜久野自治会では、「旧精華小跡地を考える協議会」の立上げを行い、地元一丸となつて協議を進め、他地区においても同様に活動を広めるものです。

⑧ 地域・地区公民館活動の協働と支援

「人権推進委員研修」「夜久野みらいを語る集い」「ふれあいいきいきフェスタ健康環境委員研修」など、相互に連携を取り合い実施してきました。

JAは夜久野自治会を応援しています。住みよい町づくりは住民の結集から。

豊かな暮らしの応援団

JA京都にのくに

夜久野支店

電話 (0773) 37-1121



『災害に学び、次世代に伝える手段として。』



【防災ブック作成にあたっての経過報告】

この取り組みは、東日本大震災が起こった平成二十二年。六か月後に私(水谷)が現地岩手・南三陸・気仙沼などを訪れ、その時の地元の方との会話の中から学んだ事をどうしても伝え、実践する必要性に駆られた事が、今回の「防災ブック」作成の発端です。

九十年のスパンで起こる巨大地震は、「本震」まで約三十年以内に起こるとされ、熊本や鳥取はその「前震」とされています。南海トラフ地震(マグニチュード9)の脅威が迫る中、京都府はその地震による被害の想定を、死者880人・負傷者1万4650人・要救助者2470人・建物被害7万210棟と予測、建物はそのほとんどが全壊焼失としています。

夜久野町連合自治会として、現在取り組んでいる「防災ブック」作成への全自治会員の皆様の協力があつてはじめて完成出来るものであり、個々

【防災シート回収経過】

下地区回収経過
512世帯中(334)
65.2%

中地区回収経過
243世帯中(213)
87.6%

上地区回収経過
524世帯中(419)
80.8%



に書かれたシートの内容には、大変重く受け止めなければならぬ内容も多く書かれています。

平成二十九年二月六日現在での「防災シート(調査用紙)」回収は会員総数1262世帯に対し、966世帯となっています。

防災の基本はもちろん自助ですが、地域で助け合う共助の力も必要です。東日本大震災での地元消防団の力がなければ、さらなる犠牲者が出たことでしょう、この防災ブックをいざという時の手段として、そして、次世代の後継者のために作成するものです。

夜久野物産(株)

代表 森澤俊彦
夜久野町井田520 TEL 37-1137 FAX 37-1167

〈糖尿病専門医〉〈老年病専門医〉

医療法人 高尾医院

院長 高尾嘉興 TEL 37-0020

墓石・墓苑のご用命は

高内石工組合

〒629-1313 京都府福知山市夜久野町高内142 TEL (0773)37-0116

集う
語る

まちづくり振興大会

学ぶ
交流する

2月19日(日) 於：夜久野ふれあいプラザ

「夜久野みらいまちづくり協議会」が設立されてから、1年半が経過しました。

この「協議会」は、夜久野町連合自治会の専門機関として発足しました。

従来、連合自治会役員が1年任期のために、全町的な地域づくりを継続的に運営するのが難しいという課題がありました。その課題を解決するために設立されたのが「夜久野みらいまちづくり協議会」です。

「まちづくり振興大会」は、協議会の活動も含めて『夜久野の地域づくり』を軸に活動発表を通して研修と交流をはかる目的で開催されました。



まちづくりにかかわる多くの人が登壇し、活動を発表しました。

「協議会の全体報告」「教育・文化・スポーツ部会」「福祉・あんしん部会」「定住・交流促進部会」「経済活性化部会」は、映像や実物などを提示しわかりやすく活動を紹介。



総勢120名の参加。住みやすい地域を作りたいという熱い思いを分かち合いました。



夜久野ならではの事業にたずさわりの、奮闘されている方の活動発表。(写真・上)
その方々へ、敬意と支援の気持ちを表して「振興大使」を授与しました。
(写真・下)



野菜の育種 野菜苗
有限会社 夜久野育種農場

〒629-1323 京都府福知山市夜久野町板生29
TEL&FAX(0773)38-1235 E-mail:globot@mx.nkansai.ne.jp

松田電器

TEL 37-0043 FAX 37-0043

輝く夜久野の子どもたち

学園への様々なご支援、本当にありがとうございます。

副校長 曾根 肇

近年まれな大雪により、福知山市でも日常生活や交通機関、農業施設などに大きな被害が出ました。学園もスクールバスの運行ができず、開校以来初めて、雪のため2日間の休校を余儀なくされました。その節には、大変ご心配をおかけしましたが、地元業者の方、保護者・地域の皆さんにバスの運行経路や自宅からバス停、徒歩通学路等の除雪をしていただいたおかげで学校が再開できましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、平成28年度も残すところ1か月ほどとなり、月日の流れる早さに改めて驚かされる今日この頃です。昨年4月に小中一貫教育校夜久野学園に着任し、小中学生がともに生活する学園の毎日は、新鮮な出会いの連続でした。中でも結クラブの皆さんをはじめ、多くの地域の方々、登下校の見守りや1・2年生の生活科での野菜作り、1年生・9年生が総合的な学習等で取り組む「ふるさと未来学」の講師など学園の教育活動に惜しみなく協力をいただいていることを目の当たりにし、感謝の思いでいっぱいです。

着任の際、下夜久野駅近くに「子育てするなら夜久野町」の懸垂幕が掲げられていることに気付きました。平成18年夜久野町連合自治会の設立を契機に、平成20年には「明日の夜久野教育を考える会」、さらに平成23年に「夜久野学園推進協議会」が設立され、学園の開校に向けて「尽力いただいた地域の皆さんの願いが込められた懸垂幕の言葉を目にするたび、改めて身の引き締まる思いがします。

地域の皆様、学園の子ども達は、皆さんにご支援いただき、ふるさと夜久野について学んだり、ふれあったりすることを通して、着実に力を付けています。これから、朝のあいさつ放送、ふれあいいきいきフェスタや夜久野のみらいを語る集いなど、子ども達が、町民の皆さんに思いを伝える場で成長する姿を見ていただけるよう教職員は精一杯取り組んでまいります。今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

夜久野子育て支援センターの活動

夜久野子育て支援センターは、妊娠・出産、育児と切れ目のない支援を大切に、親子の交流の場を開いて、子育ての応援、仲間づくりの場の提供、また育児不安や子育ての様々な相談を受けながら、家庭訪問や子育て支援を行っています。

妊娠中の方を対象にした「ゆりかごひろば」は、助産婦さんに来ていただく機会もあり、妊娠中の心配事や出産・育児についての疑問や不安、情報交換などどんなことでも気兼ねなく話していただける場となっています。

「こんにちはあかちゃん事業」では、生後3ヶ月ごろのあかちゃんに主任児童委員さん、民生児童委員さんといっしょにご家庭を訪問させていただいています。その後の家庭訪問のきっかけとなり、つながりを大切にしています。

月3回程度行っている「ふれあいひろば」では、夜久野学園、保育園、児童館、地域の方など様々な人とのふれあいを大切に取組んでいます。ひよっこクラブでは、親子の語らいの場として、子育て中の親御さん同士がつながり合い、仲間づくりへとつながっていくように場所の提供をしています。

そのほかに、子育てサークルの育児支援やサポート、日々の育児についての電話相談も行っています。



★子育て支援センター「開設時間」

(月曜～金曜 午前9時30分～午後4時)

夜久野ふれあいプラザ内

☎ 0773-3710189

どうぞお気軽に遊びに来てください

これからも、いっしょにいろんなことを話したり、遊んだり、過ごしたりできるようにお待ちしていますので、第二の我が家のような憩いの場として自由にご利用ください。



きらり 夜久野なでしこ

夜久野の女性グループの活動を
紹介するコーナーです。

【第3回】

夜久野元気はつらつグループ

踊りが大好きなメンバーが集まり、9年前から活動を始められました。
毎年、「ふれあいいきいきフェスタ」や「高原まつり」「グリーンピラ
夜久野夏祭り」など、地元の行事に積極的に参加して、盛り上げてあら
れます。

新しいことにも果敢に挑戦され、平成23年には、国民文化祭「盆踊
りフェスティバル」に参加、平成24年には「福知山踊りコンテスト」
に参加し優勝を飾られました。



「踊りをとおして地域の役にも立ちたい」と、社会福祉協
議会にボランティア登録をされ、踊りとともに明るい笑顔
で、たくさんの人を元気づけておられます。

地区公民館の体育行事の全員踊り「福知山踊り」を盛り上
げるため、お揃いの衣装で参加し、会場を盛り上げました。

昨年は、「文化協会」会歌の創作舞踊の発表に協力、さら
に、下夜久野額田の伝統文化「額田踊り」の復活支援にも協
力されました。

グループのお名前通り、夜久野の郷に元気の輪を広げて
日々活躍中のみなさんです。



夜久野いきいき大会

高齢者あんしん講座

3月10日(金)夜久野ふれあいプラザにおいて、老人クラブ夜久野支部と夜久
野地域公民館の共催で、「夜久野いきいき大会」が開催されました。

この催しは、高齢者が心も体も健やかに過ごすための心がけを講話や簡単な
体操を交えながら学びました。

講師は、「川口・夜久野包括支援センター」所長の高岡克弘さんと、「motto
ひょうご」事務局長の栗木剛
さんでした。

おふたりともユーモアたっ
ぶりのわかりやすいお話で、
参加者は「いきいき」と元気
と持ち帰りました。

(写真右上・高岡克弘所長)

(写真右下・オープニングでオカリナ演奏をする会員)



地域元気宣言の

京都北都信用金庫額田支店

TEL 37-0051 FAX 37-1158

日本郵便株式会社
夜久野郵便局

〒629-1399 夜久野町
額田新梓1289-1
TEL 0773-37-0800

日本郵便株式会社
直見郵便局

〒629-1321
京都府福知山市夜久野町
直見19-1
TEL 0773-38-0800

日本郵便株式会社
中夜久野郵便局

〒629-1313 夜久野町
高内199-3
TEL 0773-37-0801

平成28年度 「夜久野ふるさと基金」 事業報告

夜久野ふるさと基金運営委員会

委員長 水谷 博

「夜久野ふるさと基金」につきましては、今年度も皆様方のご理解と温かいご支援のもと、多くの篤志をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

この篤志につきましては、運営委員会で協議をもち、下記のとおり、自治会保険加入のほか、夜久野地域の福祉、文化、教育活動等に活用させていただきました。

今後とも、地域の皆様のご意見をいただきながら、「夜久野ふるさと基金」のより良い運用を図っていきたく存じますので、引き続きご協力をお願いいたします。

記

- (1) 自治会活動支援として、夜久野町連合自治会「自治会保険」の加入
- (2) 夜久野地域の活性化に向けて、「ふれあいいきいきフェスタ」支援
- (3) 子どもたちの健やかな成長を願い、運動機器資材支援
夜久野学園 寄贈(テントシート3張り)
夜久野学園 寄贈(防砂ネット)
- (4) 福知山防犯推進協議会夜久野支部「安心・安全のまちづくり事業」支援

平成28年度 夜久野ふるさと基金決算書(中間)

3月2日現在

【収入の部】

(単位円)

項目	金額	備考
繰越金	1,685,193	H27年度繰越金
寄付金	494,400	篤志寄付19件(430,000) 仏教会(64,400)
雑収入	660	保険料返金
利息	15	預金利息(9+6)
収入合計	2,180,268	

収入2,180,268円－支出825,010円
＝1,355,258円

次年度繰越金予定額 1,355,258円

会計 新宮 春雄

年度末の決算につきましては、後日「夜久野ふるさと基金だより」にて報告いたします。

【支出の部】

(単位円)

項目	金額	備考
保険料	333,750	平成28年度自治会保険料
会葬事務	24,840	会葬はがき・封筒各3,000枚
粗品代	30,000	線香セット(お供)60セット
寄贈品	214,400	夜久野学園(テントシート194,400・防砂ネット20,000)
印刷代	35,000	夜久野ふるさと基金だより(H27年度)
事務費	50,000	事務委託費
事業支援	137,020	福知山防犯推進委員協議会夜久野支部会(20,000) ふれあいいきいきフェスタ実行委員会(107,020)
支出合計	825,010	

お詫びと訂正

- 第41号に掲載しました「上夜久野財産区議員」の記事において、委員の任期に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
- 【誤】平成28年8月31日から平成29年8月30日
- 【正】平成28年8月31日から平成31年8月30日

夜久野町の人口は 平成29年2月末日現在

- ☆人口 3,550人(－108人)
(男) 1,686人(－59人)
(女) 1,864人(－49人)
- ☆世帯数 1,557戸(－14)
()内は昨年同期

(市人口統計表による)

ふるさと基金

まわりく銀行

篤志ありがとうございました。

☆平成二十八年十二月

亡父供養の場 義浩様(高内)

☆平成二十九年一月

亡父供養 足立 元子様(西中)

編集後記

この冬は、一月に二回、二月に一回の三十年ぶりと言われる大雪で、ビニールハウスは、夜久野で82棟(市域全体では300棟)も倒壊。
古い家の倒壊や、民家の大屋根の庇の損傷など、多くの被害が出ました。被害を受けられた方には、心からお見舞い申し上げます。

三月十一日で、東日本大震災と福島原発事故から六年を迎えましたが、今なお避難生活の人が十二万三千人も。復興は道半ばです。

日本列島は、阪神淡路大震災以降、活動期に入ったと言われ、昨年一年間で震度4以上の地震は、192回も起きています。身近な「養父断層」が動けば、夜久野で死者70人、建物全壊は2660棟、旧福知山では死者370人、建物全壊は1万6250棟などの被害が想定されています。

『備えよ、常に』でありたいですね。
この一年間、ありがとうございました。